



ROCK PAINT

127・081・114・024ライン

ルーフペイントシリーズ

金属製屋根・トタン屋根・新屋根材用塗料

住宅用化粧スレート(新屋根材)
トタン屋根、金属製屋根などに

- | | |
|--------------|----------------|
| ● 127-1000番級 | ロックリアクターコートルーフ |
| ● 081-1000番級 | サンフロンルーフ |
| ● 114-6000番級 | ハイパーユメロックルーフ |
| ● 114-1000番級 | ユメロックルーフ |
| ● 024-1000番級 | 1液ユメロックルーフ |

ロックペイント

住宅用化粧スレート・セメント瓦
金属系屋根材・乾式コンクリート瓦

ROOF PAINT シリーズ

製品ラインナップ



ロックリアクターコートルーフ
(超低汚染リアルハイブリッド無機系塗料)



サンフロンルーフ
(弱溶剤2液型4フッ化フッ素樹脂屋根用塗料)



ハイパーユメロックルーフ
(弱溶剤2液型リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料)



ユメロックルーフ
(弱溶剤2液型シリコンウレタン樹脂屋根用塗料)



1液ユメロックルーフ
(弱溶剤1液架橋型リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料)

ルーフペイントシリーズ特長

高耐久性・高耐候性
(ラジカル制御)

シロキサン結合による強固な塗膜のロックリアクターコートをはじめ、紫外線により発生するラジカル(劣化因子)をHALS(光安定剤)と特殊コーティングチタン顔料によって無効化し、塗膜の劣化する速度を緩和します。

高光沢・仕上がり性

レベリング性を向上させ塗装しやすく、高級感のある美しい仕上がりを得られます。

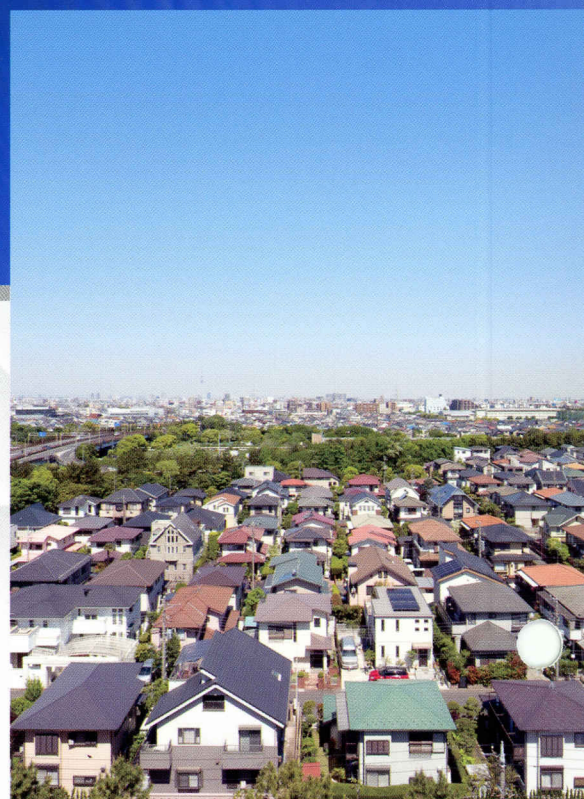
防藻・防カビ性

各製品、強力な防藻・防カビ剤が配合されていますので、藻やカビの発生を抑制し、長期にわたり清潔な住環境を保ちます。

調色対応

各製品の標準色に加え、お客様のご要望に沿った色調をご提供します。

対応製品：ロックリアクターコートルーフ、サンフロンルーフ
ハイパーユメロックルーフ、ユメロックルーフ



屋根部は太陽光が発している紫外線(UV)、雨、雪、霜などの自然現象を直接受ける最も厳しい環境に曝され、建物の中では外壁以上に傷みやすい部分です。近年は地上に到達する有害な紫外線が増加傾向にあり、屋根部も高耐久性・高耐候性の塗料が求められています。

「ルーフペイントシリーズ」では高耐候性・高紫外線カット機能を追及したハイグレードな製品をラインナップし、様々な屋根材を長期的に保護します。

屋根材別 推奨下塗り

● 住宅用化粧スレート・セメント瓦

- ・ハイパーシーラーエポ
- ・ハイパーシーラーアクア
- ・エポシーラーマルチ
- ・ロック水性プロテクトルーフ サフ

● 金属系屋根材

- ・2液型サビカット
- ・サビカットⅡ

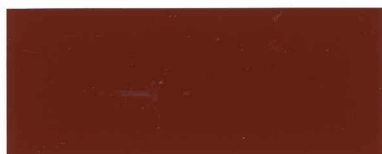
● 乾式コンクリート瓦【洋瓦】

- ・ハイパーシーラーエポ(透明)

※詳細な使用方法是「標準塗装仕様書」
各々のカタログをご参照ください。

屋根用標準色

ロックリアクターコートルーフ・サンフロンルーフ
ハイパーユメロックルーフ・ユメロックルーフ・1液ユメロックルーフ



↑ロイヤルレッド



↑ブリックレッド ※



↑チョコレート



↑新ブラウン



↑ココアブラウン



↑ダークブラウン ※



↑新コーヒーブラウン



↑エバーグリーン ※



↑ニューモスグリーン ※



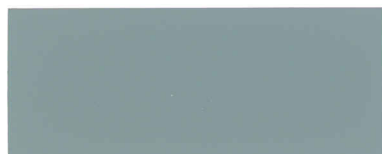
↑ナイスブルー ※



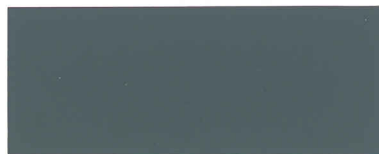
↑ライトブルー ※



↑ナスコン ※



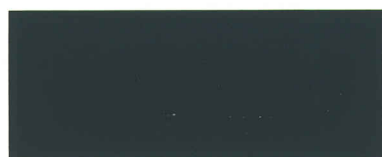
↑ねずみいろ



↑グレー



↑ノアール



↑アイアングレー



↑ブラック

屋根用メタリック標準色

ハイパーユメロックルーフ・ユメロックルーフ・1液ユメロックルーフ



↑銀黒A



↑銀黒B



↑銀黒C



↑シルバー ※

※印の色の価格は割高となります。

- 銀黒A・B・C・シルバーはハイパーユメロックルーフ、ユメロックルーフ、1液ユメロックルーフのみの設定です。平滑面にハケやローラーで塗装すると、つやむらやメタリックむらが目立つことがありますのでご注意ください。エアレスなどで塗装すると美しく仕上がります。
- この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・つやに差異があります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。
- 広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・つやが見本帳と異なって見える場合があります。
- 色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2025年5月)を守ってください。



■ 製品別 比較表

	ロック リアクターコート ルーフ	サンフロン ルーフ	ハイパーユメロック ルーフ	ユメロック ルーフ	1液ユメロック ルーフ
樹脂系	無機	フッ素	シリコン	シリコン	シリコン
ラジカル制御※	●	●	●	—	●
防藻・防カビ	●	●	●	●	●
調色対応	●	●	●	●	—
耐久グレード	★★★★★	★★★★★	★★★★	★★★★	★★★
ライフサイクルコスト※※ (長期修繕費用)	★★★★★	★★★★★	★★★★	★★★★	★★★

●…… 対応 —…… 非対応

※ ラジカル制御とは、紫外線等によって発生する劣化因子(ラジカル)を無効化させる機能を有しています。

耐久グレード：(高い) ★★★★★ > ★★★★ > ★★★ > ★★ > ★ (低い)

※※ ライフサイクルコストの低減効果：(高い) ★★★★★ > ★★★★ > ★★★ > ★★ > ★ (低い)

耐久グレードの高い塗料は塗り替え回数を減らせることから、建物維持にかかわる長期的な費用の低減化が図れます。

■ 製品体系

工 程	製品名【系統】	容量(荷姿)	主剤:硬化剤 【配合比】	色	塗り面積 石油缶・回 (石油缶・2回塗り)	可使時間 (23℃)
下塗り	ハイパーシーラーエボ 【弱溶剤2液型変性エポキシ無機ハイブリッドシーラー】	15kgセット 【主12.5kg 硬2.5kg】	5 : 1	透明・ホワイト	115~187㎡	7時間
	エボシーラーマルチ 【弱溶剤1液変性エポキシ樹脂シーラー】	14kg	—	透明	140~175㎡	—
	ハイパーシーラーアーク 【水性2液高付着カチオン系エポキシシーラー】	15kgセット 【主14kg 硬1kg】	14 : 1	透明	115~187㎡	12時間
	ロック水性プロテクトルーフ サフ 【水性エポキシ系屋根材用下地調整塗料】	15kg	—	グレー(日塗工N-45近似)	18~50㎡	—
	2液型サビカット 【弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー】	16kgセット 【主14.4kg 硬1.6kg】	9 : 1	赤サビ色(日塗工09-40L近似) グレー(日塗工N-75近似)	106~123㎡	5時間
	サビカットII 【弱溶剤1液型変性エポキシサビ止め塗料】	16kg, 4kg	—	ホワイト(日塗工N-93近似) ブラック※16kgのみ(日塗工N-15近似)	114~133㎡	—
上塗り	無機系 ロックリアクターコートルーフ 【超低汚染リアルハイブリッド無機系塗料】	15kgセット 【主12.5kg 硬2.5kg】	5 : 1	標準色・調色対応	93~107㎡ (46~53㎡/2回塗り)	5時間
	フッ素系 サンフロンルーフ 【弱溶剤2液型4フッ化フッ素樹脂屋根用塗料】	15kgセット 【主13.5kg 硬1.5kg】	9 : 1	標準色・調色対応	115~135㎡ (57~67㎡/2回塗り)	6時間
	シリコン系 (弱溶剤2液) ハイパーユメロックルーフ 【弱溶剤2液型リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料】	15kgセット 【主13.5kg 硬1.5kg】	9 : 1	標準色・調色対応	114~135㎡ (57~67㎡/2回塗り)	7時間
	シリコン系 (弱溶剤2液) ユメロックルーフ 【弱溶剤2液型シリコンウレタン樹脂屋根用塗料】	15kgセット 【主13.5kg 硬1.5kg】	9 : 1	標準色・調色対応	114~135㎡ (57~67㎡/2回塗り)	7時間
	シリコン系 (弱溶剤1液) 1液ユメロックルーフ 【弱溶剤1液架橋型リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料】	14L	—	標準色(20色)	105~125㎡ (52~62㎡/2回塗り)	—

● 塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。

● 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。

● 上記塗り面積は目安であり、素地の吸い込み状況・形状により増減しますので、予めご了承ください。

標準塗装仕様

住宅用化粧スレート、セメント瓦

工 程		塗料名	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	希釈剤	塗装方法・希釈率(%)	塗り重ね可能時間 (23℃)	
下地調整		高圧洗浄により、ゴミ、汚れ、こけ、カビなどを完全に除去する。高圧洗浄できない場合は、ホースで水を流しながらデッキブラシ、ワイヤーブラシなどで入念に除去する。旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分はケレン具を用いて完全に除去し、乾燥させて清浄な面とする。						
下塗り		ハイパーシーラーエボ	1～2 ^注	0.08～0.13	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0(通常不要) エアレス：0(通常不要)	4時間以上7日以内	
		エボシーラーマルチ		0.08～0.10			3時間以上	
		ハイパーシーラーアクア		0.08～0.13	水		4時間以上	
		ロック水性プロテクトルーフ サフ	1	0.3～0.8		ハケ・ローラー：0～10 エアレス：0～10	3時間以上	
上塗り	無機系	ロックリアクターコートルーフ	2	0.14～0.16	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0～20 エアレス：0～20	3時間以上5日以内	
	フッ素系	サンフロンルーフ		0.11～0.13			ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	3時間以上
	シリコン系 (弱溶剤2液)	ハイパーユメロックルーフ						2時間以上
	シリコン系 (弱溶剤2液)	ユメロックルーフ						
	シリコン系 (弱溶剤1液)	1液ユメロックルーフ						
縁切り		水切り部で瓦が重なった部分は、皮スキなどで塗料除去、縁切りを行う。						

- 下塗りは上記の他にユメロックシーラー（弱溶剤2液タイプ）使用できます。
 - 軽度な不陸がある場合、セメント瓦にはロック水性プロテクトルーフ サフを塗装してください。
 - 上塗りにロックリアクターコートルーフを使用する場合、エボシーラーマルチは下塗りに使用できません。
- 注）各種シーラーで劣化した吸い込みの激しい素材の場合は2回塗りを行ってください。

金属系屋根（ガルバリウム鋼板・トタンなど）

工 程		塗料名	塗装回数	標準塗付量 (kg/㎡・回)	希釈剤	塗装方法・希釈率(%)	塗り重ね可能時間 (23℃)	
下地調整		旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ、さび発生部分などは電動工具を主体に皮スキ、金属ワイヤーブラシなどでケレン具で完全に除去する。 チョーキングしたところ、ゴミ、汚れなどはサンドペーパーなどで除去した後、高圧洗浄を行い、乾燥させて清掃な面とする。						
下塗り		2液型サビカット	1	0.13～0.15	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0～ 5 エアレス ： 5～10	4時間以上7日以内	
		サビカットⅡ		0.12～0.14		ハケ・ローラー： 0～10 エアレス ： 10～20		
上塗り	無機系	ロックリアクターコートルーフ	2	0.14～0.16	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0～20 エアレス ： 0～20	3時間以上5日以内	
	フッ素系	サンフロンルーフ					3時間以上	
	シリコン系 (弱溶剤2液)	ハイパーユメロックルーフ		0.11～0.13			ハケ・ローラー： 5～15 エアレス ： 10～20	2時間以上
	シリコン系 (弱溶剤2液)	ユメロックルーフ						
	シリコン系 (弱溶剤1液)	1液ユメロックルーフ						

- 亜鉛でキラキラ輝く銅材やオイル処理をしたもの及び非鉄金属の種類によって付着しない場合がありますので、試し塗りをしてご確認ください。
- 下塗りは上記の他にサビカットプラス（弱溶剤1液タイプ）も使用できます。

乾式コンクリート瓦【洋瓦】（モニエル瓦・スカンジア瓦）

工 程		塗料名	塗装回数	標準塗付量 (kg/㎡・回)	希釈剤	塗装方法・希釈率(%)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整		高圧洗浄後、デッキブラシ等を用いて脆弱な着色スラリー層、汚れ、異物を完全に除去。 ※高圧洗浄の水圧は12MPa(120kgf/cm ²)以上/乾燥させて清浄な面とする。					
下塗り		ハイパーシーラーエボ(透明)	2	0.08～0.13	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0(通常不要) エアレス：0(通常不要)	4時間以上7日以内
上塗り	無機系	ロックリアクターコートルーフ	2	0.14～0.16	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0～20 エアレス：0～20	3時間以上5日以内
	フッ素系	サンフロンルーフ		0.11～0.13		ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	3時間以上
	シリコン系 (弱溶剤2液)	ハイパーユメロックルーフ					2時間以上
	シリコン系 (弱溶剤2液)	ユメロックルーフ					
	シリコン系 (弱溶剤1液)	1液ユメロックルーフ					

- ハイパーシーラーエボは「塗れ感になるまで」を目安に塗装してください。
- ハイパーシーラーエボはクリアタイプのみ使用可能となります。
- シーラー乾燥後、ガムテープを用いて付着力の確認を行い、スラリー層がガムテープに付着する場合は、再度シーラーを塗装してください。

施工上の注意事項

- 塗料は全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される時は外部の塗装は避けてください。
- 素地が直射日光などで極端に熱くなっているときは、塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、さび、砂、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 水性の塗料で塗り替える場合、さびの削りカス(さび、鉄くず)は完全に除去してください。塗り替え後、さびの発生の原因となります。
- エアレス塗装する場合は、塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- 乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による艶引け現象がおこる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- トタン板などで亜鉛メッキの目付量が多い場合には、下塗り塗料との密着が悪くなる場合があります。新しいトタン板に塗装する場合は、3~4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなってから塗装してください。
- トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が十分得られない場合がありますので、先に拾い塗りすることをお勧めします。
- 塗装時は、高いところから降り口を確保しながら塗装してください。塗りがたての面は滑りやすいので、絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 2液型サビカット硬化剤は、アミンブリード性の少ない主剤との相溶性にすぐれたアクタクトタイプですが、施工時および硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる所での使用はできません。
- 希釈には必ず指定のシンナーを使用してください。指定以外のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈するとタレや色分けの原因になります。
- ハイパーユメロックス、ユメロックス、サンフロンルーフおよびロックリアクターコーティングの硬化剤はイソシアネート系化合物を含んでいるため、吸引すると鼻、喉、気管支などに障害を起こすおそれがあります。特に換気に注意し適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- 2液型塗料を使用する場合、主剤と硬化剤の配合比は必ず守り、可成時間内に使い切ってください。また高温時は可使時間が短くなるため注意してください。
- 夏場(高温下)では硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。塗り重ね時間が過ぎると、層間で密着性が低下します。塗装間隔があく場合は再び下塗りを塗装するか、ペーパーを掛けを実施してください。
- ハイパーユメロックス、ユメロックス、サンフロンルーフの低温時(10℃以下)塗装では、硬化剤との反応が遅くなるため、硬化前の降雨、結露などにより塗膜不良を生じる場合があります。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 標準塗付量はハケ、ローラーの場合の値で、塗装時の口を考慮に入れた数値です。塗装方法、被塗物の形状、環境などによって増減する場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。

- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は、十分な性能が得られないことがあります。
- 弱溶剤型塗料に使用した塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後下塗り塗料(サビ止め塗料)で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー類や上塗り塗料には防錆性がありませんので、棟など金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のサビ止めを下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 新屋根材などで素地に軽度の不陸がある場合は、下地調整材として「ロック水性プロテクトルーフ サフ」を使用してください。
- 新屋根材などで塗装後水切り部で瓦が重なり合った部分に塗料が付着していると漏れの原因となりますので、必ずススキなどを用いて塗料の除去と縁切りを行ってください。
- 露出している瓦の素地が脆弱な場合は、剥離の原因となりますので塗装しないでください。(瓦の張り替えをお勧めします。)
- 低汚染性については被塗物の種類や形状、また施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥初期の段階で天候不良となった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 塗り替えた塗膜は以前の塗膜と比較して、光沢、平滑性が向上し一般的に滑りやすい傾向にあります。塗装後の屋根上での作業には十分注意してください。
- 冬期においては、屋根上の雪が滑りやすくなることが想定されます。安全確認を行い、屋根に滑り止めなどの付帯設備を設置するなど対策を取ることをお勧めします。
- 1液ユメロックス、サビカットプラス及びサビカットIIはスプレードストや製品に付いた紙、布、ローラーなどが積み重なると自然発火するおそれがありますので、廃棄するまで水に浸けてください。
- 水性塗料に使用するハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用し、用具や手に付いた塗料は使用後できるだけ早く水で洗い落してください。
- ロック水性プロテクトルーフ シーラーやハイパーシーラーアクアと他の水性塗料は互いに混合すると、ゲル化して使用できなくなります。また、塗装用具の共用も避けてください。
- ロック水性プロテクトルーフ シーラーやハイパーシーラーアクアのさび缶にはプラスチック容器を使用してください。金属類はさびが発生するおそれがあります。
- 乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジア瓦)の下塗りはハイパーシーラーエポを塗装してください。
- 粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)、アスファルトシングル材には塗装できません。
- 無機系、フッ素系などで処理した住宅用化粧スレート(新屋根材)には、下塗りにハイパーシーラーエポを使用してください。
- 見本板に記載していない素地や塗装方法、工程で施工する場合、塗膜不良を起こすことがありますので、使用する前に最寄の営業所にお問い合わせください。
- 下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレードストなどがたまってくと発熱し、自然発火のおそれがある。(1液弱溶剤型塗料)

【救急処置】

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 取扱は引火源のないところでを行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱は避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレードストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- 使用済みウエス、塗料かす、スプレードストなどは、発熱し自然発火のおそれがあるため、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。

- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分換気を行ってください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗いおよびうがいを十分にを行い、作業着に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

【施工後の安全性についての注意】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 凌正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255
西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市千川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

販売店

- 本カタログの内容については、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

2022.3.12000.239N(BUL-M15)